

イリヤ・プーシキン

成田結婚



イリヤー・プーシキン

成田結婚

校正： 大久保裕美
装丁： シモーナ ヴェイスベルグ
2010 © Jerusalem, Ilya Pushkin
www.pushkin-japan.com

*

私に
日本人の妻が
いるのなら、
ずっと家の奥で
鶴は布を織る。
私は決してドアを開けない。

*

日本人の女性から
生まれた赤ちゃんは
日本人。
だから、私は
私を生んでくれる日本人の女性を
探している。

*

婚前旅行と
新婚旅行の間に
結婚するのを
忘れないでください。

*

もし私が
隣にいる太った金髪の女性の
笑い声を聞いているのなら、
私の人生は空しい
と思うだろう。

もし私が
隣にある枕の上に
日本人のあなたの顔を見れるのなら、
私の人生は無駄じゃない
と感じるだろう。

日本へ投げキス

私の恋は
君の唇に触れるために
「大韓航空」の助力を
必要としない。
そして、ある日君は、
優しい風を感じて、
それが私の投げキスだと分かる・・・

*

初めて
私が日本に着く前に、
既に
日本のイメージが、
私の中に
できていた。

だから、私の日本への到着は、
まるで
できちゃった結婚のようだ。

秋の洗濯

秋の汚い空を
洗濯して、
青い空の下で
洗濯物を乾かした。
秋晴れさん、こんにちは！

*

賢くない人なら、
周りの人を
驚かさなければ、
賢い人と思われるようになる。

賢い人なら、
周りの人を
驚かさなければ、
もっと長く生きられる。

*

成田空港で
私を迎えた君に
「結婚しよう」と言った。

君は、
「”成田結婚”ね」
と答えた。

*

人の言葉を
話せる犬を
見たことがないように、
日本人は
私が日本語で話しているのを聞くと、
びっくりする。

スパイダーの下デート

六本木のスパイダーの下で
クモのような女性に会った。
彼女は私に
クモの糸を巻きつけて
命の汁全部と
お金を全部
私から吸い取ってしまった。

六本木

私は外国人を見るために
日本に来たんじゃない。
それは毎日鏡で
十分見ている。

*

日本には、
日本人の奥床しさと美しさを
強調するために
外国人が必要だ。

*

三人の日本の女性と
別れたけれど、
いまだに私は
日本語ができない。
日本の女性に忍耐が足りないのか、
何かが私に足りないのか、
私にはわからない。

「みどりの窓口」前での待ち合わせ

どうしたら私たちは
お互いがわかるのだろうか？
一番きれいな女性が、あなただ。
一番変な外人が、私だ。

*

日本の女性は
みんながみんなきれいなわけではない。
でも、彼女たちみんなの写真を撮りたいし、
二人に一人をカフェーに招待してみたいし、
三人に一人とは結婚したい・・・

*

電車の中で
少女はボーイフレンドと
携帯電話でメールをしている。
渋谷から代々木まで
彼と喧嘩をしたらしく、
泣いている。
代々木から原宿までで
仲直りをしたらしく、
笑っている。
原宿で降りなければ、
もう一度喧嘩をするかもしれない。

*

日本では
切符の自動販売機でさえ
心から
「どうもありがとうございます」と言う。

日本のミニスカート

おしりが隠れているなら、
ロングスカートだ。
スカートがほとんど見えないなら、
ミニスカートだろう。

女性の膝の戦争

その戦いには妥協の余地がない。
若い女性は、
意中の男性を手にしようと、
ミニスカートをはいて
突進する。

*

撮り残した
日本の女性の膝がたくさんある。
だから、私は日本へ戻る。

カメラが壊れた

私は桜の写真を
撮ったはず。
でも、日本の女性の膝ばかりが
写っている。

私は紅葉の写真も
撮ったはず。
でも、日本の女性の膝ばかりが
写っている。

私は日本の町並みの写真も
撮ったはずだった。
でも、日本の女性の膝ばかりが
写っている。

私のカメラは
壊れているのかもしれない・・・

東京の町角の向こうに

浅草には
町角の向こうに
いつも
神社とお寺がある。

渋谷には
町角の向こうに
いつも
きれいな女性の足がある。

六本木には
町角の向こうに
いつも
外国人がいる。

東京の
どこの町角の向こうで
あなたは私を待っている？

旅行者にアドバイス

神社の写真を撮るときは、
神様が怒らないように
フラッシュを焚かないで。

旅行者にアドバイスー 2

神社やお寺の前では
祈るのか、
写真を撮るのか
決めて。

人生に
幸福を望むのか、
面白い写真を望むのか、
あなたにとって
どちらがより重要か？

でも、
良い写真を撮るためには
祈らなければならない。

エスカレーターで
エスカレーターの
左側に立てば、
東京の人だ。

エスカレーターの
右側に立てば、
大阪の人だ。

エスカレーターの
真中に立てば、
外国人だ。

*

主人が部長なら、
とくに何の才能がなくても、
部長というだけで、
自慢することができる。
でも誇りに思うことはない。

主人が詩人なら、
たとえ貧乏で
自慢することができなくても、
誇りに思える。

大津

家々の間に
琵琶湖の青さが
見えると、
心が落ち着いてくる。

草むしり

君は庭で草むしりをしたとき、
過去から
いろいろな思い出を
むしり取っている。

でも誤って、
君の心から
私についての思い出を
むしり取らないで。

*

墓の中で私は、
おとなしく
寝ていることができない。

私の墓から
詩が流れ出ると、
周りにある墓から
笑い声がしてくる。

*

目が覚めても、
まだ頭が
夢の断片でいっぱいだ。

始まっている一日の
現実の中で
消えていく大切な表象を
持ち続けることが
できない・・・

恋するのに十分の詩

一人でいる男性にとって
女性に恋してしまうには、
彼女の写真を見るだけで十分だ。
彼女の便りを読むだけで十分だ。
彼女と夢で逢うだけで十分だ。
彼女の姿を霞の中で見ただけで十分だ。
彼女について考えるだけで十分だ。
彼女の手紙の香りをかぐだけで十分だ。
彼女の微笑みを楽しむだけで十分だ。
彼女のまつ毛の動きを眺めるだけで十分だ。
彼女の足の一部を見るだけで十分だ。
彼女のきれいな目にキスをするだけで十分だ。
彼女の息を感じるだけで十分だ。
彼女と雨の下で逢うだけで十分だ。
彼女と傘の下で寄り添うだけで十分だ。
彼女と一晩中寄り添っているだけで十分だ。
彼女のきれいな顔を朝枕の上に見ただけで十分だ。
彼女を花嫁衣裳の下に見ただけで十分だ。
彼女と一生一緒にいることができれば、
これ以上十分なことはない・・・